

お問い合わせ先:

健康保険組合連合会 総合企画室

Tel: 03-5843-1756

Mail: sougoukikaku@kenporen.or.jp

新型コロナウイルス感染症拡大期における
受診意識調査
(ワクチンの接種状況・医療機関のかかりかた)

令和4年2月

健康保険組合連合会

目次

調査の概要	1
①調査の目的	1
②web アンケート対象者と内訳	1
③主な調査内容	1
調査結果のポイント	2
調査結果	3
1. 新型コロナウイルスワクチンの接種状況	3
①新型コロナウイルスワクチンの接種回数	3
②2回目の新型コロナウイルスワクチンの接種場所	4
③3回目の新型コロナウイルスワクチンの接種に対する意向	6
④新型コロナウイルスワクチンの未接種者の今後の接種に対する意向	8
2. 医療機関のかかりかたに関する意識	10
①かかりつけ医・医療機関の有無	10
②かかりつけ医に対する意識の変化	13
③オンライン診療に関する意識	14
④新型コロナウイルスの感染拡大を契機とした病気や健康の意識の変化	22

調査の概要

①調査の目的

健康保険組合連合会は昨年 12 月に、新型コロナウイルス感染症の拡大期において、国民の新型コロナワクチンの接種状況や接種に対する意識をはじめ、医療機関へのかかり方や自身の体調・意識などにどのような変化があったのかを広く把握するため、全国の 20 歳代～70 歳代の男女 4,744 人を対象とした web アンケート方式による意識調査を実施しました。「医療機関のかかりかたに関する意識」の調査は、2020 年 9 月に続く 2 回目となります。

②web アンケート対象者と内訳

「持病あり」群=2019 年 12 月（国内で新型コロナウイルス感染者が確認される前）の状況として、持病（けがを除く）の治療（経過観察を含む）のために、医療機関に定期的に通院していた方→3,500 人

「持病なし・体調不良あり」群=「持病あり」群に該当せず、かつ全国的に高齢者や職域での新型コロナウイルスワクチン接種が進んでいる時期（「第 4 波」、「第 5 波」の感染拡大期（2021 年 5 月～9 月）に、医療機関の受診を検討するような体調不良を経験したことがあった方（実際には受診したか否かは問わず）→1,244 人

なお、新型コロナワクチン接種に関連して、アレルギー等により接種が困難な方については回答者から除外しました。

③主な調査内容

- 新型コロナウイルスワクチンの接種状況
 - 接種回数・接種場所
 - 3 回目の接種に対する意向
 - 未接種者の接種に対する意向
- 医療機関のかかりかたに関する意識
 - かかりつけ医・医療機関の有無、かかりつけ医に対する意識の変化
 - オンライン診療に関する意識
 - 新型コロナウイルスの感染拡大を契機とした病気や健康の意識の変化

※端数処理の関係上、本文と図表中の合計値が一致しない場合がありますのでご注意ください

調査結果のポイント

1. 新型コロナウイルスワクチンの接種状況

- ワクチンの接種回数は、回答者全体の 90.2%が「2 回とも受けた」と回答する一方、8.6%が「まだ一度も受けていない」と回答しました。年齢階級別でみると、20 歳代～50 歳代では「まだ一度も受けていない」という回答が 1 割を超えました（3 ページ）
- ワクチンの接種場所は、回答者全体の 34.9%が「市区町村が指定する集団接種会場」で接種を受けたと回答し、「会社・大学等が設置する職域接種会場」は 11.2%となりました。年齢階級別にみると、20 歳代～50 歳代の現役世代を中心に職域接種会場で接種を受けた回答割合が高く（27.0%～16.4%）なりました。なお、医療保険制度別では、健康保険組合加入者が 20.0%と最も多くなりました（4～5 ページ）
- 接種を 2 回とも受けた方の今後のワクチン接種への意向は、81.3%が 3 回目の「接種を受けたい」、5.3%が「接種を受けたくない」と回答しました。「接種を受けたくない」と回答した方の理由は、「接種後の副反応が怖いと感じるから」（67.1%）が最も多くあがり、女性が男性を大きく上回りました（6～7 ページ）
- また、接種をまだ一度も受けていない方の今後のワクチン接種への意向は、61.2%が今後も「接種を受けたくない」と回答しました。「接種を受けたくない」と回答した方の理由は、「新型コロナウイルスワクチンの安全性がまだ十分に検証されていないから」（67.7%）が最も多くあがりました（8～9 ページ）

2. 医療機関のかかりかたに関する意識

- 「かかりつけ医」（病気になるといつも相談し、きまって診察を受ける身近で信頼できる医師）がいると回答した方が全体の 40.4%（前回調査比 5.1 ポイント増）を占めました。また、かかりつけ医がいる・医療機関があると回答した方がいつもかかる医療機関は「一般診療所」（83.8%）となりました（10～12 ページ）
- 新型コロナウイルス感染拡大を契機とした「かかりつけ医」に対する意識の変化は、全体の約 9 割が「かかりつけ医」の必要性を感じている（「かかりつけ医は絶対に必要だと思う」（38.4%）+「かかりつけ医はどちらかと言えば必要だと思う」（49.3%））ことがわかりました（13 ページ）
- オンライン診療の経験の有無は、「オンライン診療を受けたことがある」は全体で 5.6%（前回調査比 1.3 ポイント増）でした。年齢階級別にみると、持病あり群では「20 歳代」で最も高い割合を占め（26.3%）、次いで、「30 歳代」で 14.5%となりました（14～16 ページ）
- 新型コロナウイルス感染拡大を契機とした病気や健康への意識の変化は、持病あり群、持病なし・体調不良あり群ともに「以前に比べ、生活習慣病の予防に関心を持つようになると思う」が最も多くなりました（22～23 ページ）

調査結果

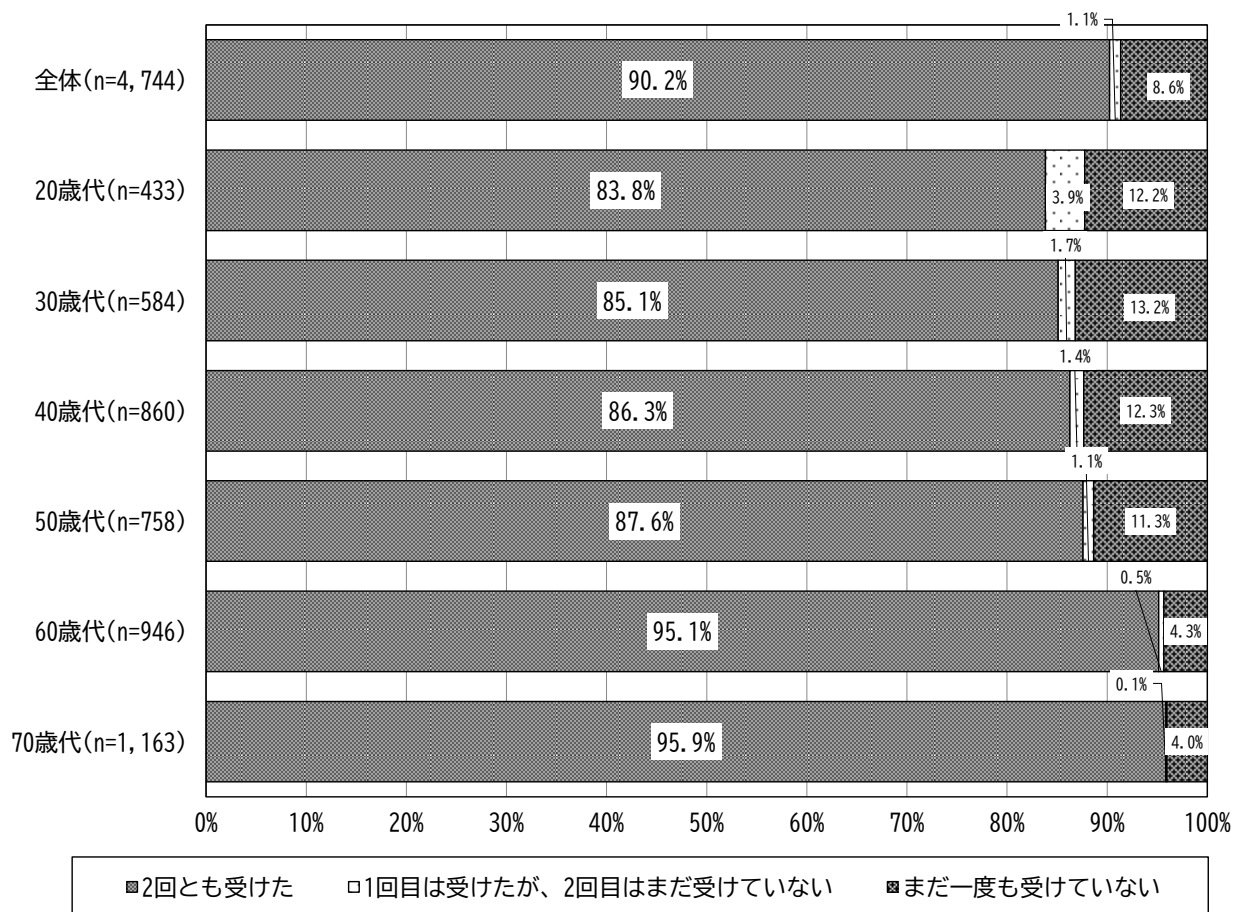
1. 新型コロナウイルスワクチンの接種状況

①新型コロナウイルスワクチンの接種回数

回答者全体におけるワクチンの接種回数は、「2回とも受けた（2回）」が90.2%で最も多く、次いで「まだ一度も受けていない（0回）」が8.6%、「1回目は受けたが、2回目はまだ受けていない（1回）」が1.1%の順だった。

「2回とも受けた」の回答割合を年齢階級別にみると、年齢階級が高くなるにつれて回答割合に増加傾向（83.8%～95.9%）がみられた。一方で、20歳代～50歳代で「まだ一度も受けていない（0回）」との回答が1割を超えた。

図表 1 新型コロナウイルスワクチンの接種回数（年齢階級別）

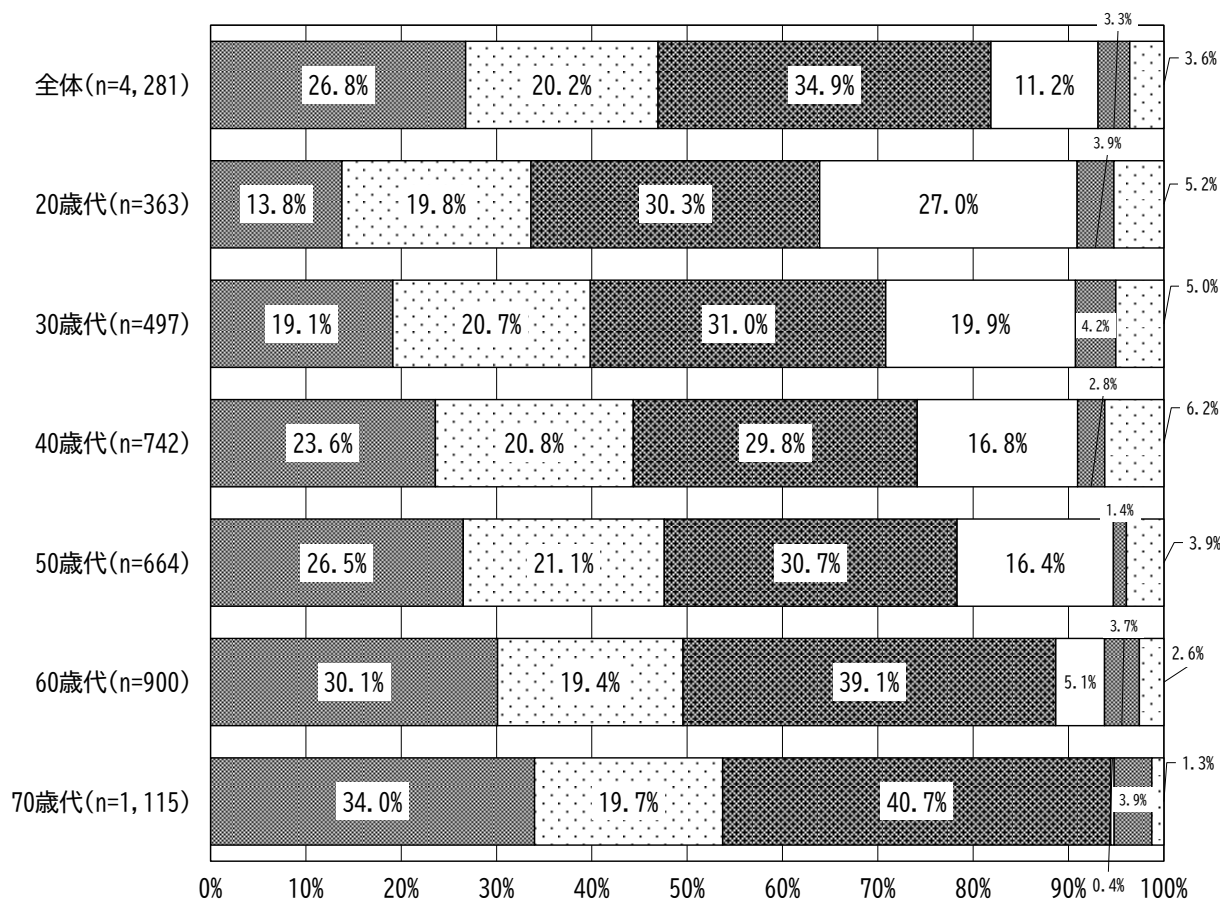


② 2回目の新型コロナウイルスワクチンの接種場所

回答者全体における2回目のワクチンの接種場所は、「市区町村が指定する集団接種会場(例: 体育館、地区センター、スポーツセンター、等)」が34.9%で最も多く、「市区町村が指定する、普段から受診している医療機関(個別接種)」(26.8%)、「市区町村が指定する、普段は受診していない医療機関(個別接種)」(20.2%)と続き、「会社・大学等が設置する職域接種会場」は11.2%となった。

職域接種会場における回答者の内訳を年齢階級別にみると、「20歳代」が27.0%と最も多く、「30歳代」(19.9%)、「40歳代」(16.8%)、「50歳代」(16.4%)と続き、現役世代を中心に全体より高い割合を占めた。また、若年層ほど「市区町村が指定する、普段から受診している医療機関(個別接種)」の割合が低かった。

図表 2 2回目の新型コロナワクチンの接種場所(年齢階級別)



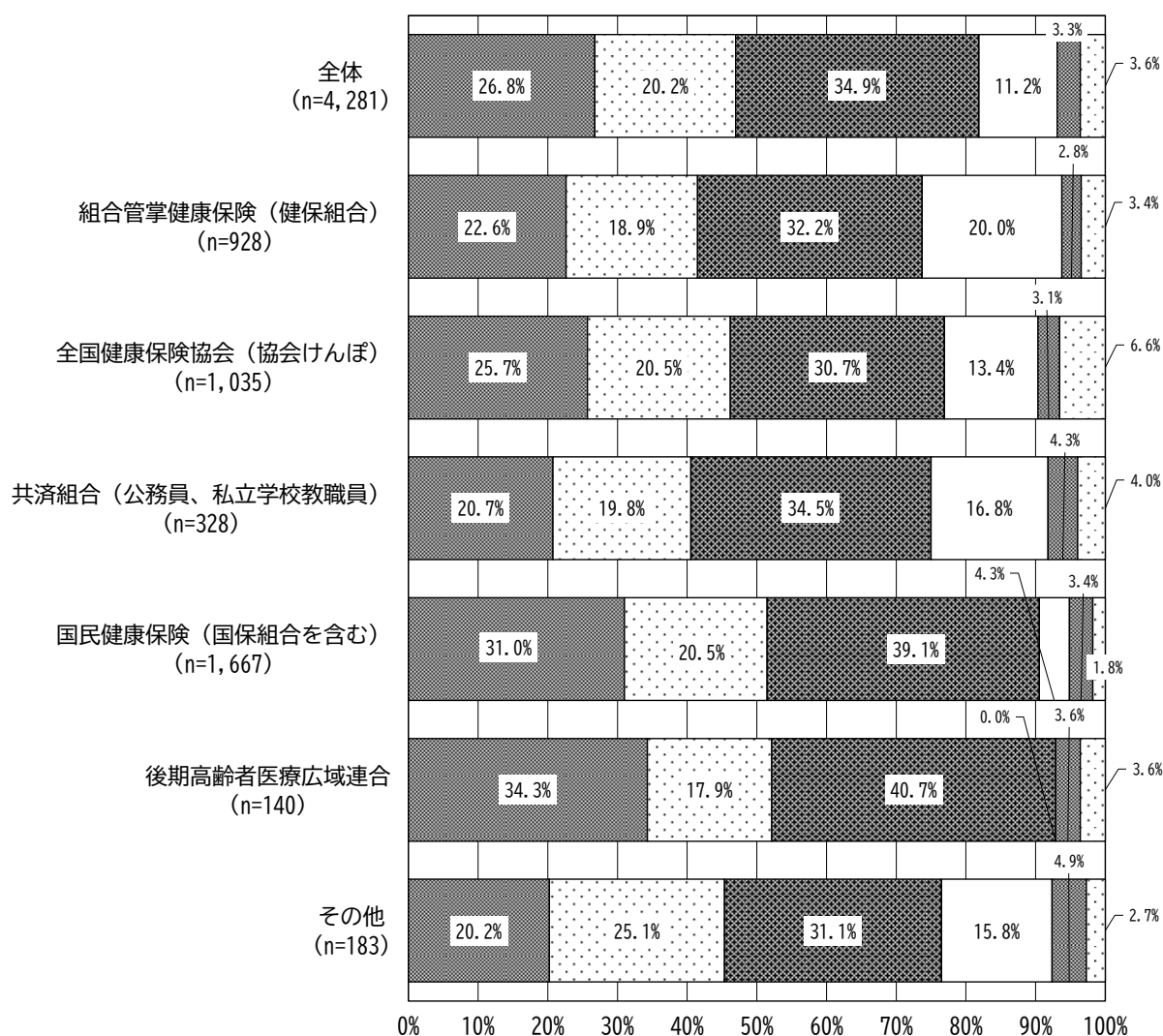
- 市区町村が指定する、普段から受診している医療機関(個別接種)
- 市区町村が指定する、普段は受診していない医療機関(個別接種)
- 市区町村が指定する集団接種会場(例: 体育館、地区センター、スポーツセンター、等)
- 会社・大学等が設置する職域接種会場
- 国(自衛隊)が指定する大規模接種センター
- その他

【加入している医療保険別の状況】

2回目のワクチンの接種場所について、加入している医療保険別にみると、「市区町村が指定する集団接種会場（例：体育館、地区センター、スポーツセンター、等）」が全体（34.9%）よりも多かったのは、「後期高齢者広域連合」（40.7%）、「国民健康保険（国保組合を含む）」（39.1%）だった。両制度は、「市区町村が指定する、普段から受診している医療機関（個別接種）」がそれぞれ34.3%、31.0%となり、全体（26.8%）より高い割合を占めた。

また、「会社・大学等が設置する職域接種会場」（全体11.2%）の制度別の状況は、「組合管掌健康保険（健保組合）」が20.0%と最も多く、「共済組合（公務員、私立学校教職員）」（16.8%）、「その他」（15.8%）、「全国健康保険協会（協会けんぽ）」（13.4%）などと続いた。

図表 3 2回目の新型コロナウイルスワクチンの接種場所（加入している医療保険別）



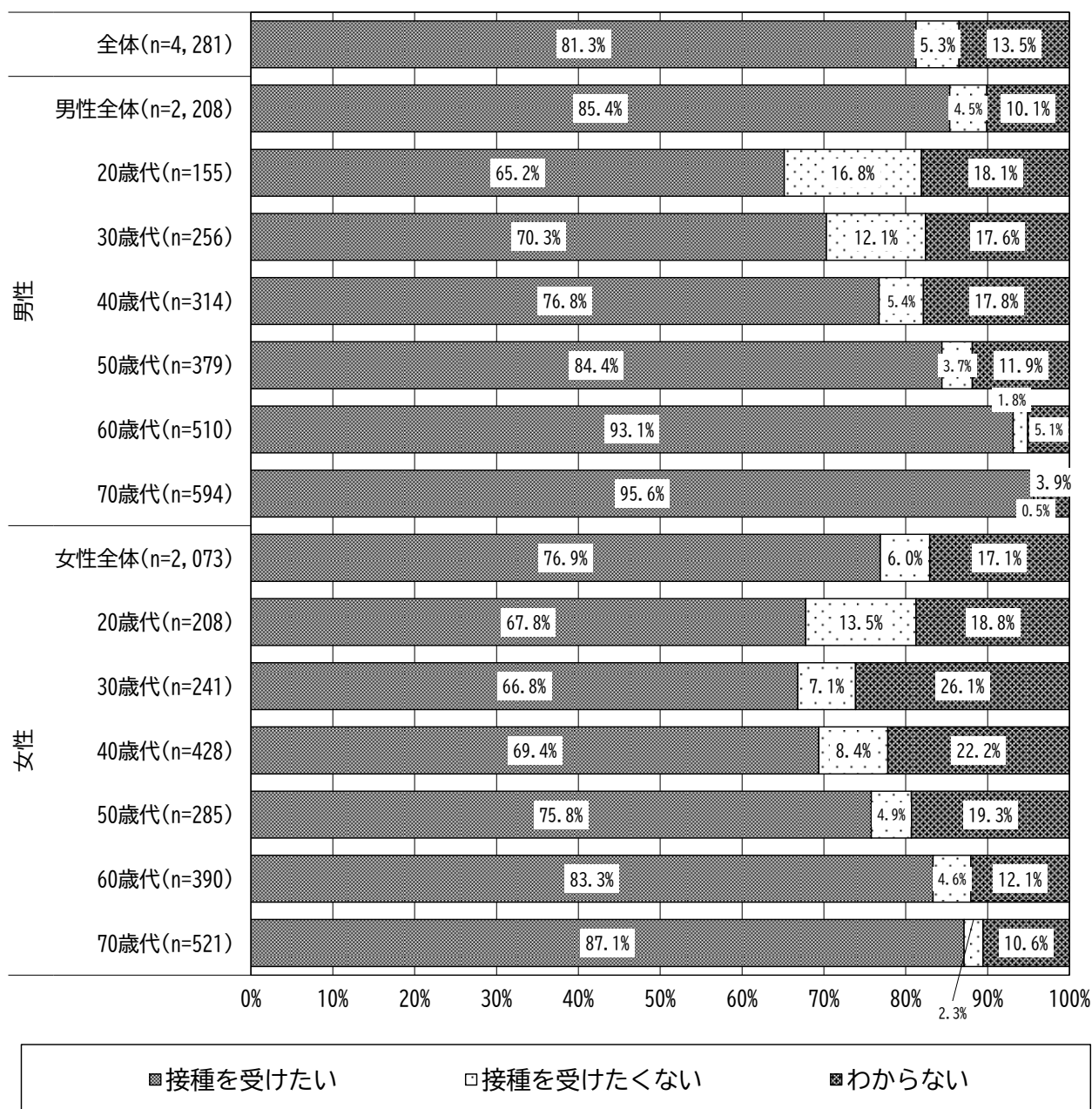
- 市区町村が指定する、普段から受診している医療機関（個別接種）
- 市区町村が指定する、普段は受診していない医療機関（個別接種）
- 市区町村が指定する集団接種会場（例：体育館、地区センター、スポーツセンター、等）
- 会社・大学等が設置する職域接種会場
- 国（自衛隊）が指定する大規模接種センター
- その他

③ 3回目の新型コロナウイルスワクチンの接種に対する意向

ワクチンの接種を2回とも受けた回答者に3回目の接種（費用負担が発生しない前提）意向を聞いたところ、「接種を受けたい」が81.3%、「接種を受けたくない」が5.3%を占めた。

また、「接種を受けたくない」の回答割合の内訳を性年齢階級別にみると、男性・女性ともに「20歳代」が最も多く（男性=16.8%、女性=13.5%）、「女性・40歳代」を除いて、年齢階級が高くなるにつれておおむね減少する傾向がみられた。

図表 4 3回目の新型コロナウイルスワクチンの接種に対する意向（性年齢階級別）

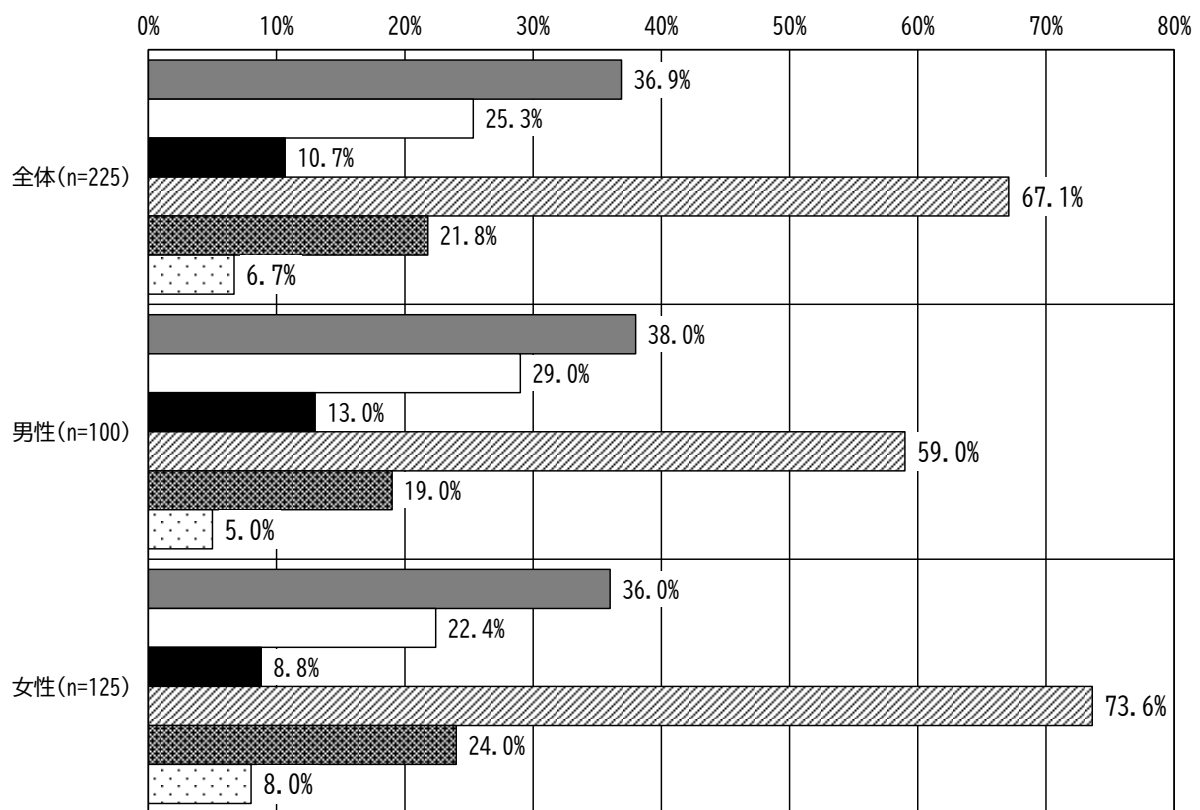


【3回目の接種を受けたくない理由】

ワクチンの接種を2回とも受けた回答者のうち、ワクチンの3回目の接種（費用負担が発生しない前提）を受けたくないと答えた方にその理由を聞いたところ、回答者全体では、「接種後の副反応（腕の痛み、40度近い発熱、頭痛・嘔吐、死亡等）が怖いと感じるから」が67.1%で最も多く、次いで「新型コロナウイルスワクチンの安全性がまだ十分に検証されていないから」が36.9%の順だった。

回答者全体の回答割合が最も高かった「接種後の副反応（腕の痛み、40度近い発熱、頭痛・嘔吐、死亡等）が怖いと感じるから」の内訳を性別で見ると、女性が男性を14.6ポイント上回った。

図表 5 3回目の新型コロナウイルスワクチンの接種を受けたくない理由（男女別）



- 新型コロナウイルスワクチンの安全性がまだ十分に検証されていないから
- 新型コロナウイルスワクチンの有効性（発症予防効果等）がまだ十分に検証されていないから
- 手洗い・うがい等を徹底し続ければ感染リスクは上がらないと考えるから
- 接種後の副反応（腕の痛み、40度近い発熱、頭痛・嘔吐、死亡等）が怖いと感じるから
- 新型コロナウイルスワクチンよりも新型コロナウイルス特効薬（飲み薬）に期待したいから
- その他

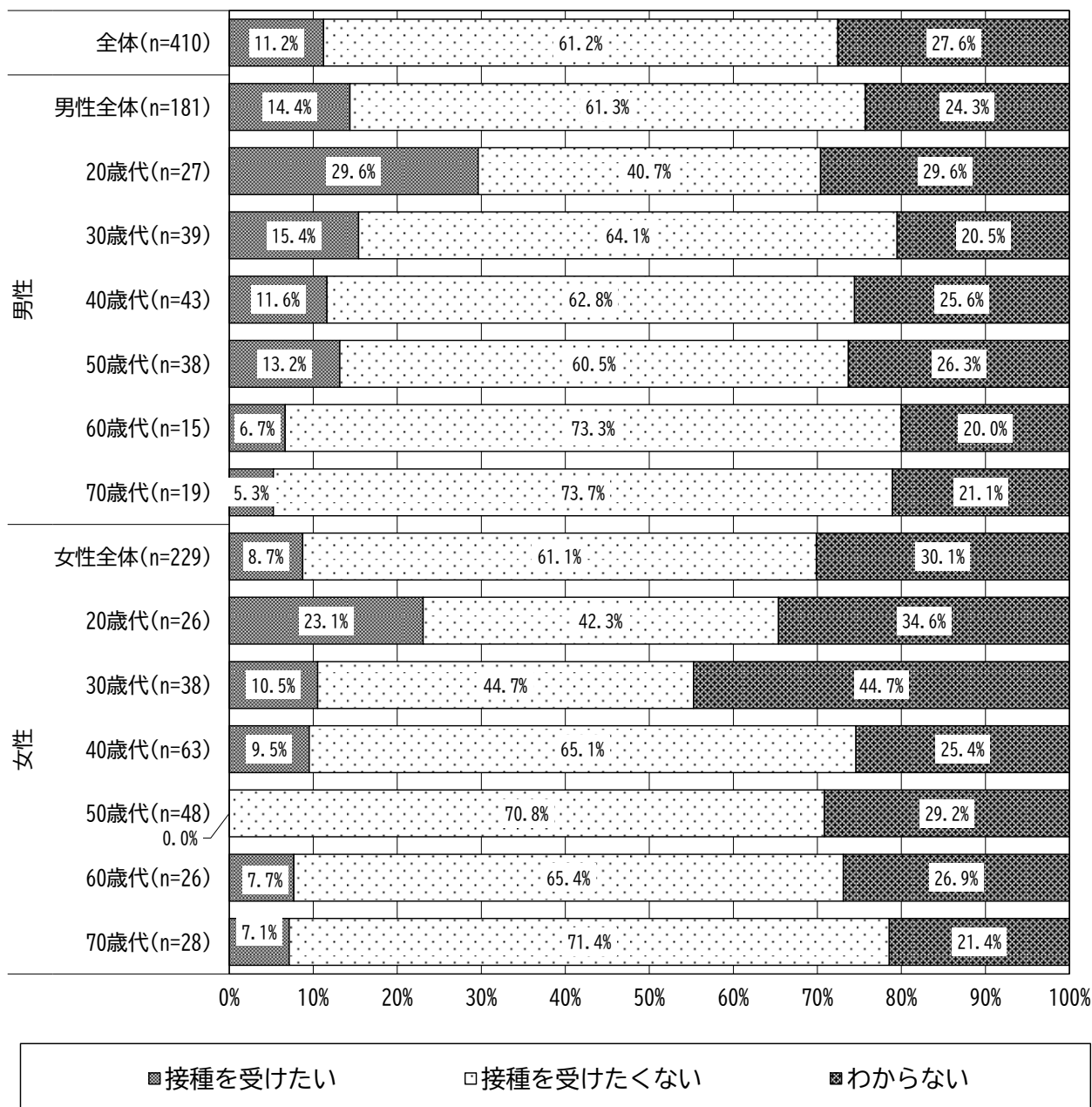
④新型コロナウイルスワクチンの未接種者の今後の接種に対する意向

ワクチンの接種をまだ一度も受けていない回答者に今後の接種意向を聞いたところ、「接種を受けたい」が11.2%、「接種を受けたくない」が61.2%を占めた。

「接種を受けたい」の回答割合の内訳を性年齢階級別にみると、「20歳代」が最も多く、男性が29.6%、女性が23.1%を占めた。

「接種を受けたくない」の回答割合の内訳を性年齢階級別にみると、男性・女性ともに「20歳代」が4割程度（40.7%、42.3%）と最も少なかった。

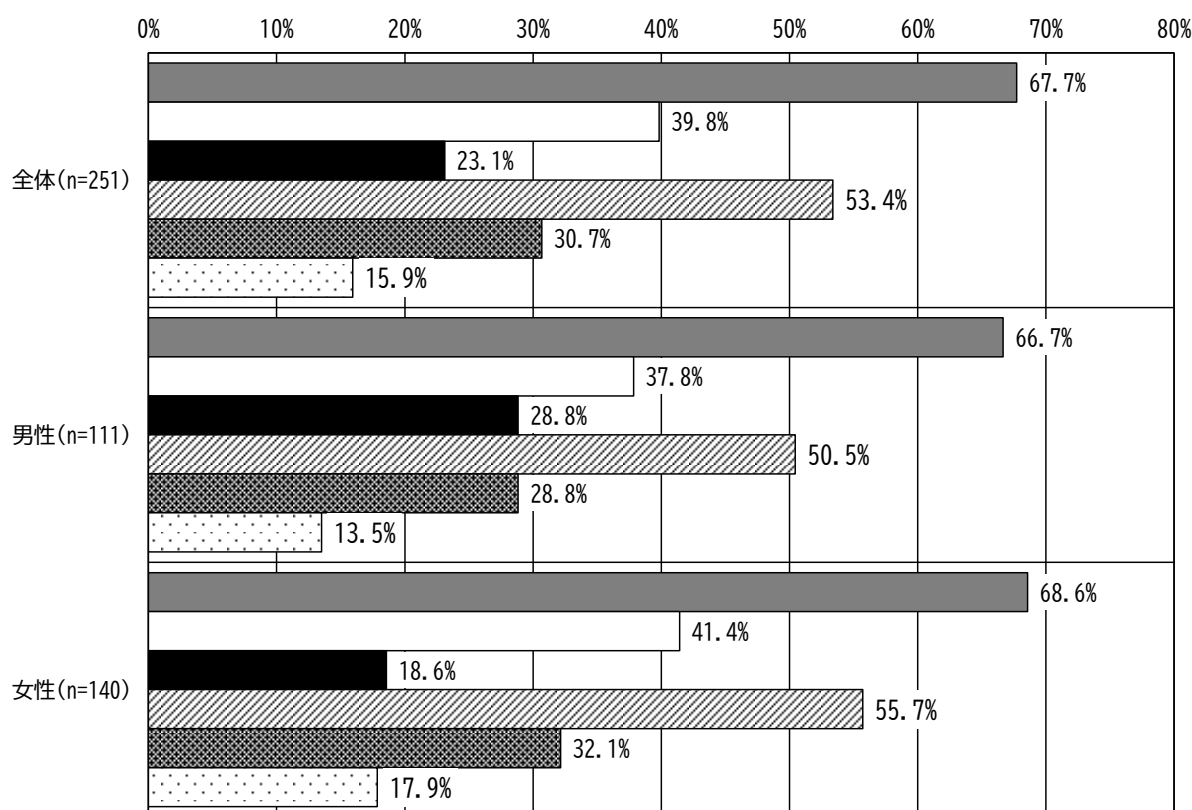
図表 6 新型コロナウイルスワクチンの未接種者の今後の接種に対する意向（性年齢階級別）



〔未接種者が今後も接種を受けたくない理由〕

ワクチン接種をまだ一度も受けていない回答者に今後も接種を受けたくない理由を聞いたところ、回答者全体では、「新型コロナウイルスワクチンの安全性がまだ十分に検証されていないから」が67.7%で最も多く、次いで「接種後の副反応（腕の痛み、40度近い発熱、頭痛・嘔吐、死亡等）が怖いと感じるから」が53.4%の順だった。性別の回答割合でも同様の傾向がみられた。

図表 7 新型コロナウイルスワクチン接種の未接種者が今後も接種を受けたくない理由
(男女別)



- 新型コロナウイルスワクチンの安全性がまだ十分に検証されていないから
- 新型コロナウイルスワクチンの有効性（発症予防効果等）がまだ十分に検証されていないから
- 手洗い・うがい等を徹底し続ければ感染リスクは上がらないと考えるから
- 接種後の副反応（腕の痛み、40度近い発熱、頭痛・嘔吐、死亡等）が怖いと感じるから
- 新型コロナウイルスワクチンよりも新型コロナウイルス特効薬（飲み薬）に期待したいから
- その他

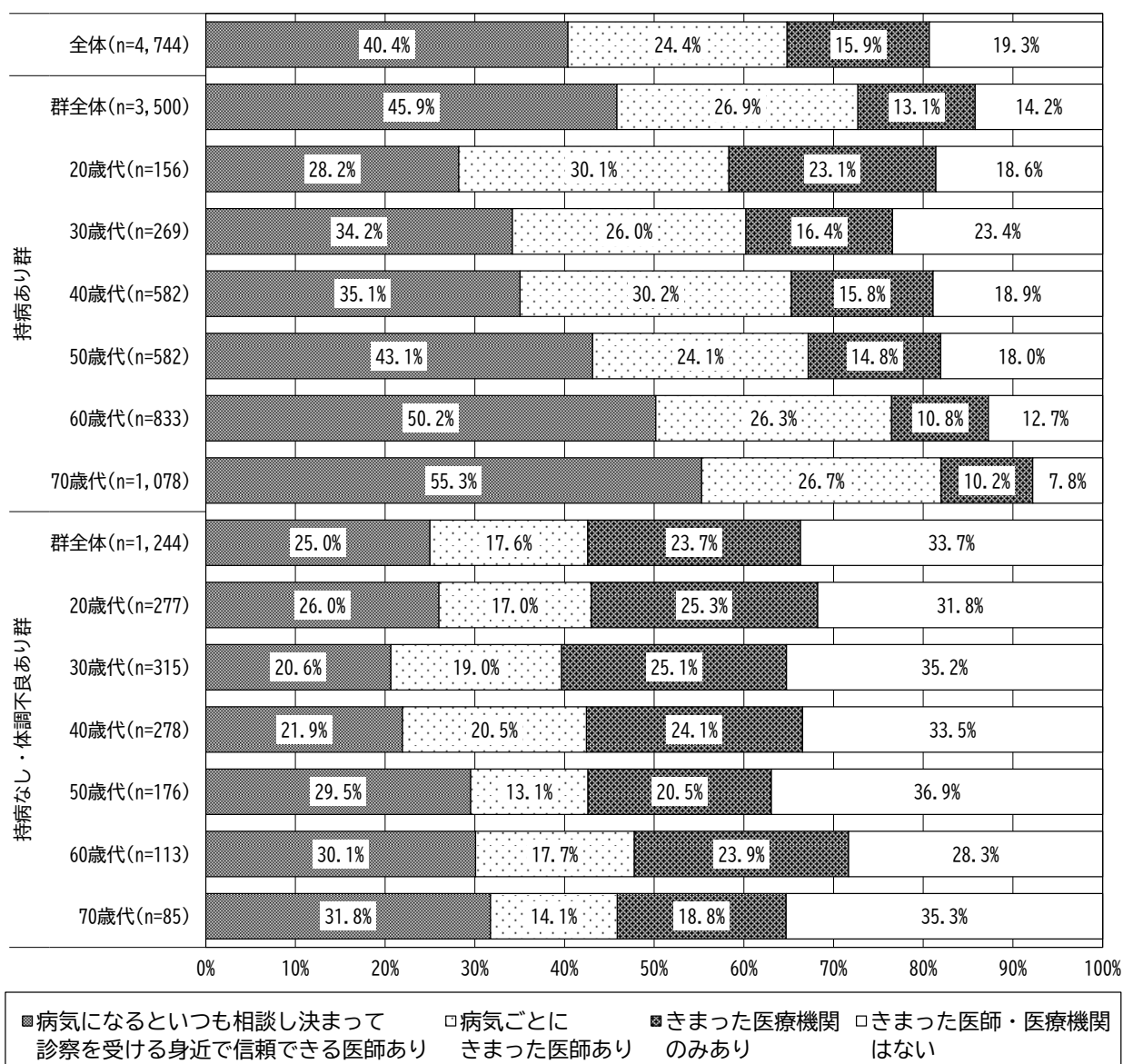
2. 医療機関のかかりかたに関する意識

①かかりつけ医・医療機関の有無

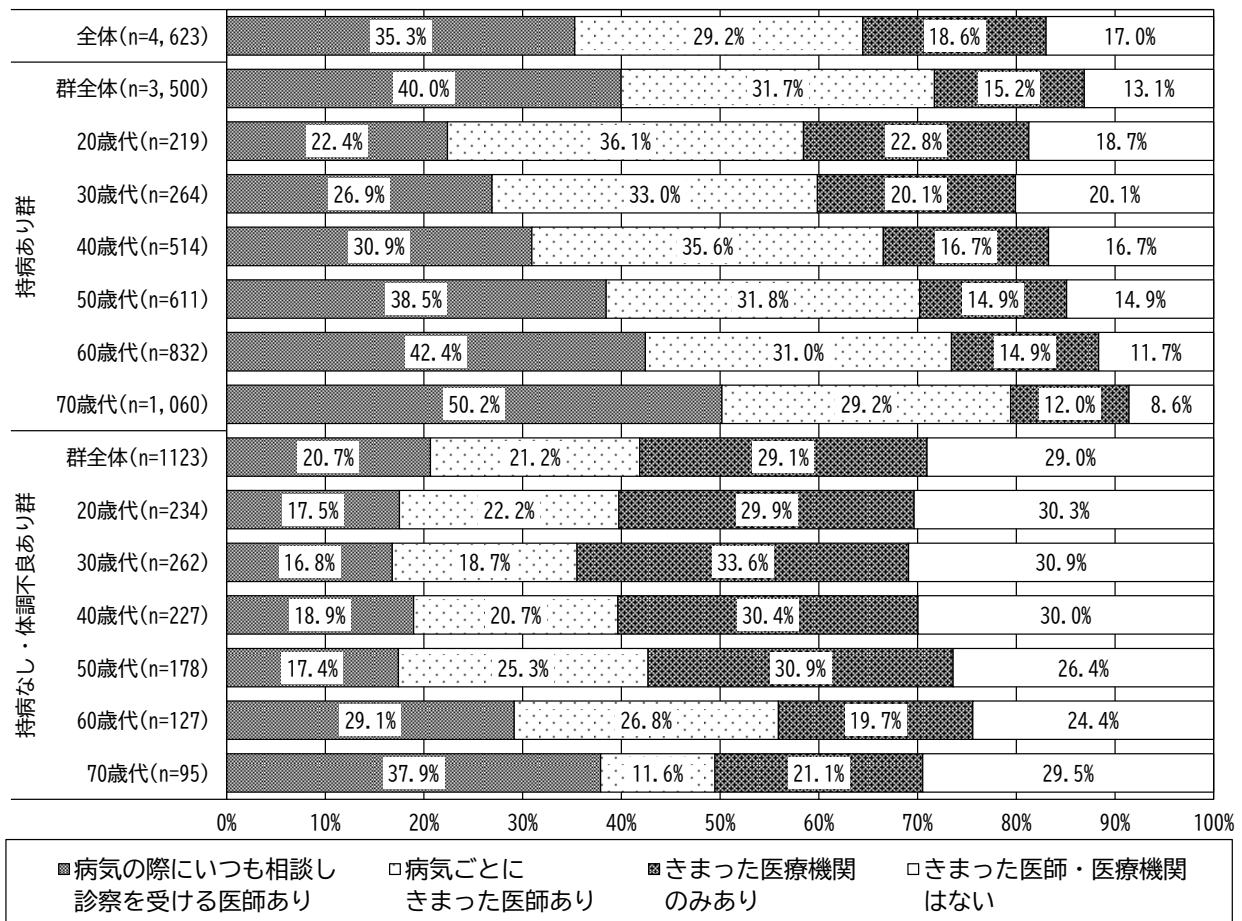
病気になるといつも相談し、きまって診察を受ける身近で信頼できる医師（以下、「かかりつけ医」という）がいる回答者の割合は全体の40.4%（前回調査比5.1ポイント増）を占めた。また、かかりつけの医師がいる・医療機関がある（「病気になるといつも相談しきまって診察を受ける身近で信頼できる医師あり」、「病気ごとにきまった医師あり」、「きまった医療機関のみあり」のいずれかに該当）回答者の割合は80.7%（同2.4ポイント減）を占めた。

持病あり群では45.9%が「かかりつけ医」がいると回答（同5.9ポイント増）し、年代が高くなるにつれ、その割合も高くなり、60歳代以降では半数を超えた。また、持病なし・体調不良あり群でも25.0%が「かかりつけ医」がいると回答（同4.3ポイント増）した。

図表 8 かかりつけの医師の有無（群別・年齢階級別）

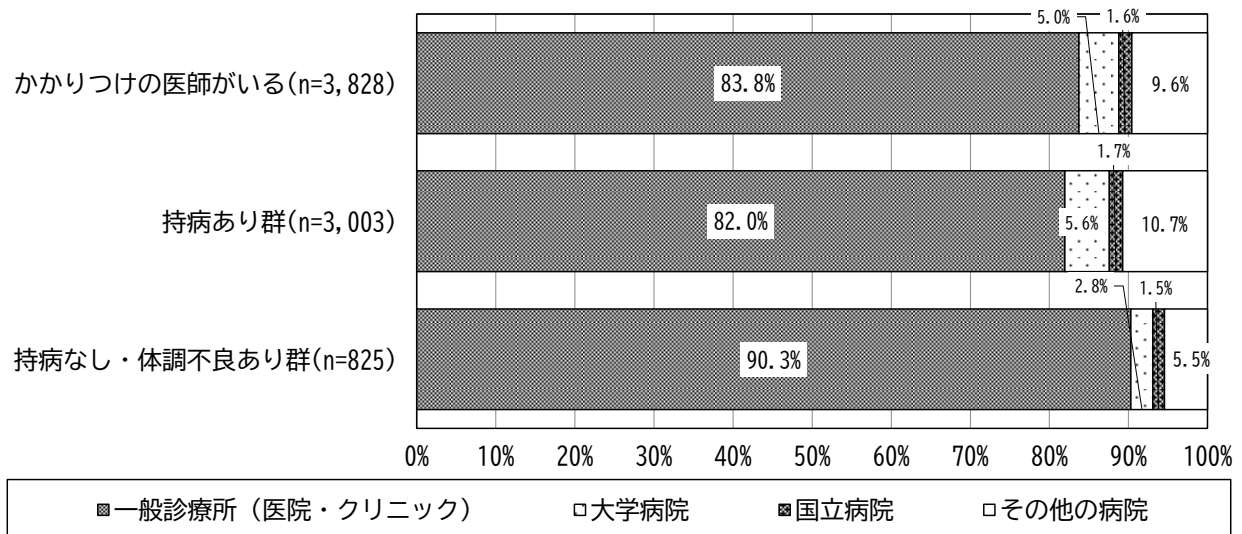


参考図表1 【前回調査】かかりつけの医師の有無（群別・年齢階級別）



「かかりつけの医師がいる・医療機関がある」回答者がいつもかかる医療機関の構成割合は、「一般診療所（医院・クリニック）」が83.8%と最も多かった。

図表9 かかりつけの医師がいる回答者がいつもかかる医療機関（群別）

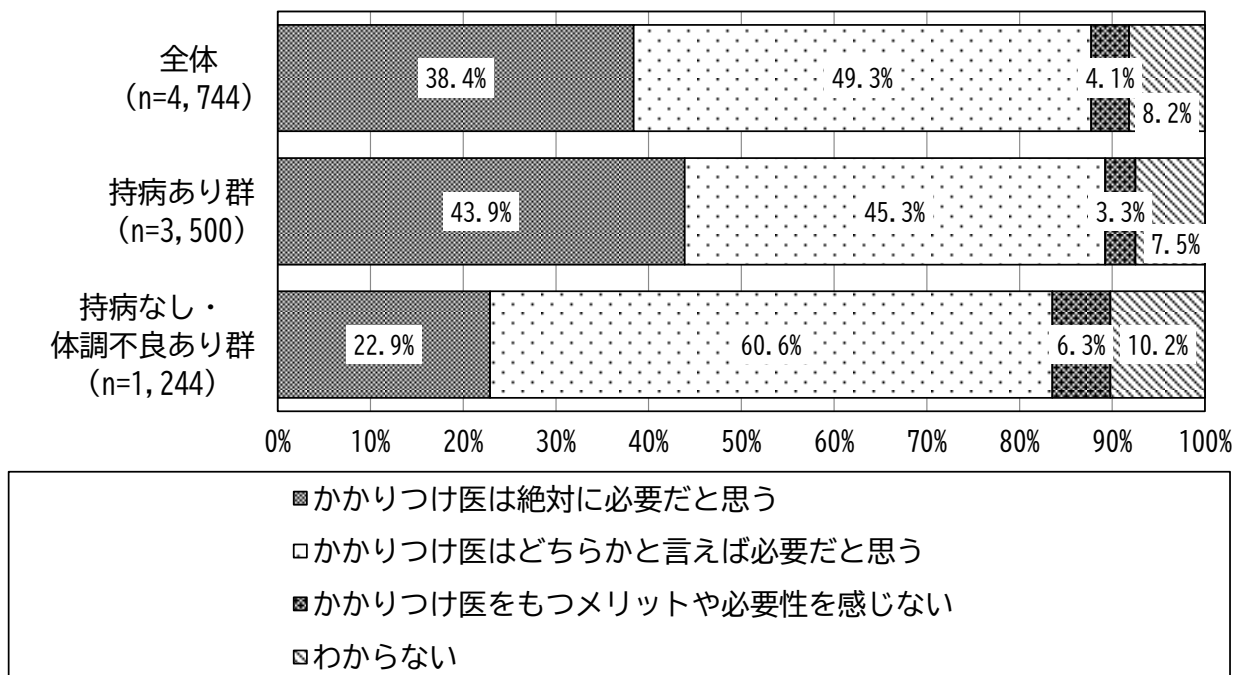


②かかりつけ医に対する意識の変化

〔新型コロナウイルス感染拡大を契機とした「かかりつけ医」に対する意識の変化〕

回答者全体における新型コロナウイルス感染拡大を契機とした、「かかりつけ医」に対する意識の変化を聞いたところ、「かかりつけ医はどちらかと言えば必要だと思う」が49.3%で最も多く、次いで「かかりつけ医は絶対に必要だと思う」が38.4%であり、全体の約9割が「かかりつけ医」の必要性を感じていることがわかった。

図表 10 新型コロナウイルス感染拡大を契機とした「かかりつけ医」に対する意識の変化（群別）



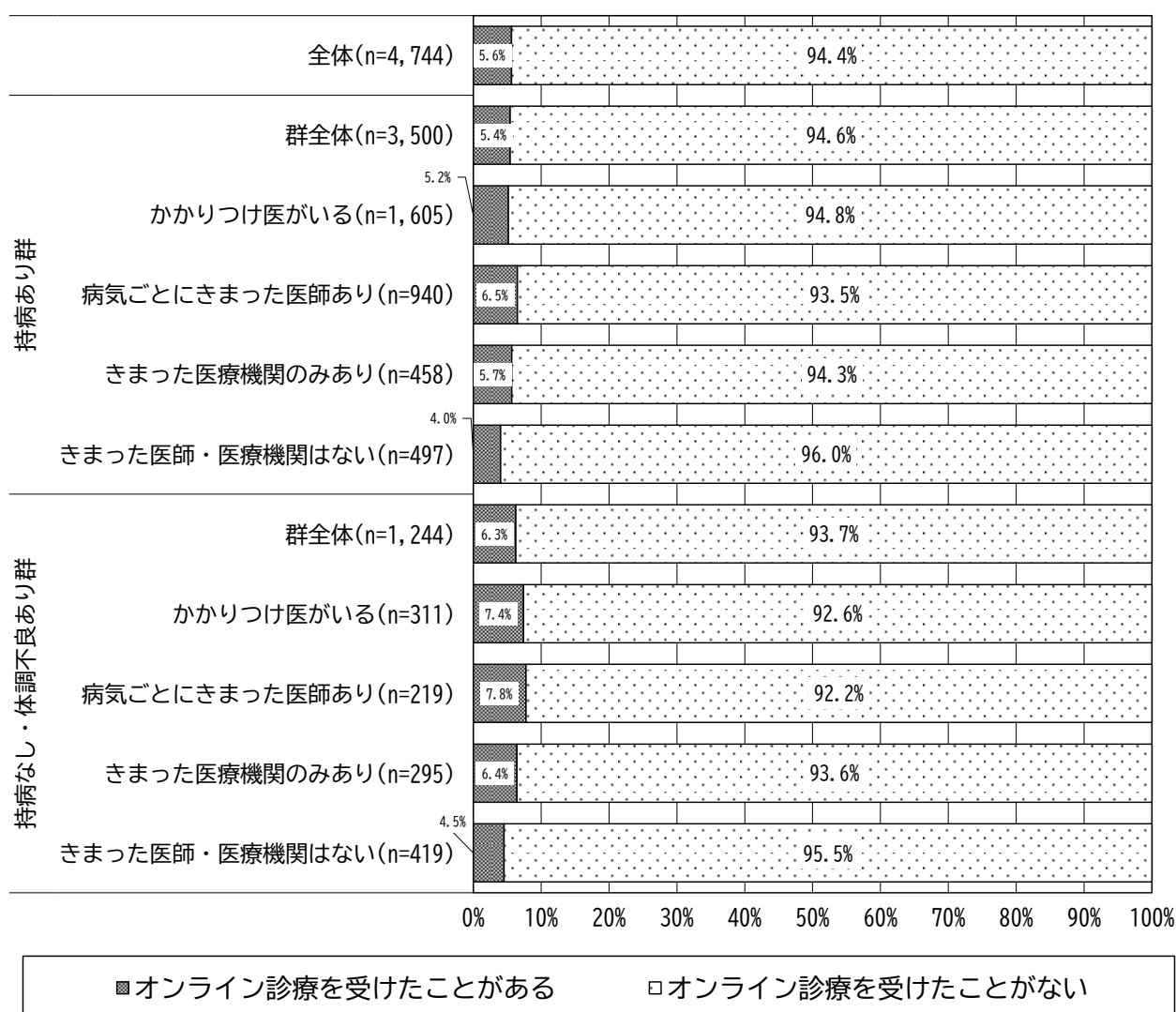
③オンライン診療に関する意識

【オンライン診療の受診経験の有無】

回答者全体にインターネットやテレビ電話を利用して、オンラインで医師の診察を受けたことがあるか聞いたところ、「オンライン診療を受けたことがある」は5.6%（前回調査比1.3ポイント増）だった。

「オンライン診療を受けたことがある」の回答割合を「かかりつけ医」の有無別にみると、持病あり群では「病気ごとにきた医師あり」が6.5%（同0.5ポイント増）で最も多く、次いで「きた医療機関のみあり」が5.7%（同0.6ポイント増）の順であった。また、持病なし・体調不良あり群では「病気ごとにきた医師あり」が7.8%（同4.0ポイント増）で最も多く、次いで「かかりつけ医がいる」が7.4%（同4.0ポイント増）の順だった。

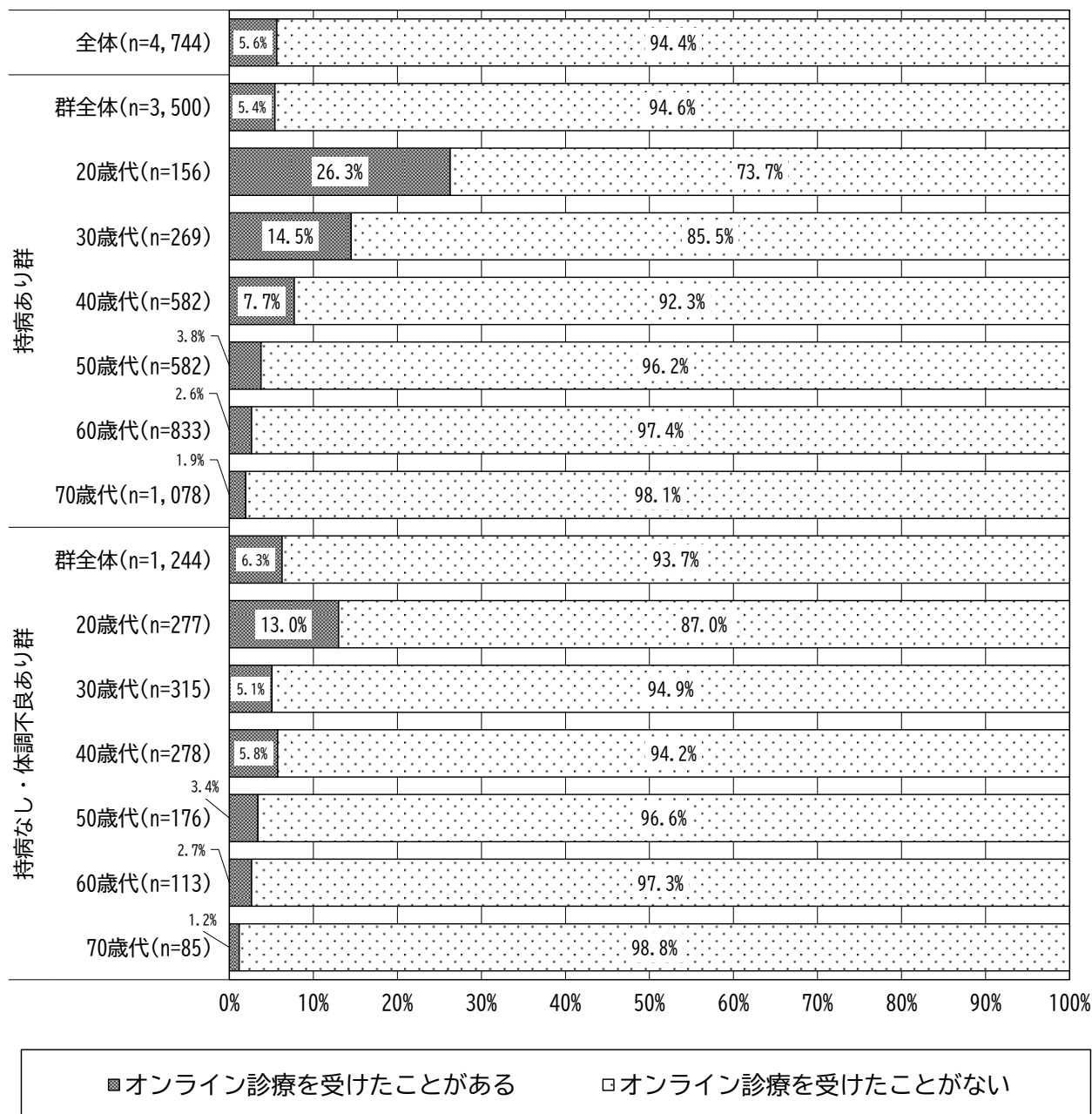
図表 11 「オンラインで医師の診察を受けたことがある」との回答割合
（群別・かかりつけ医の有無別）



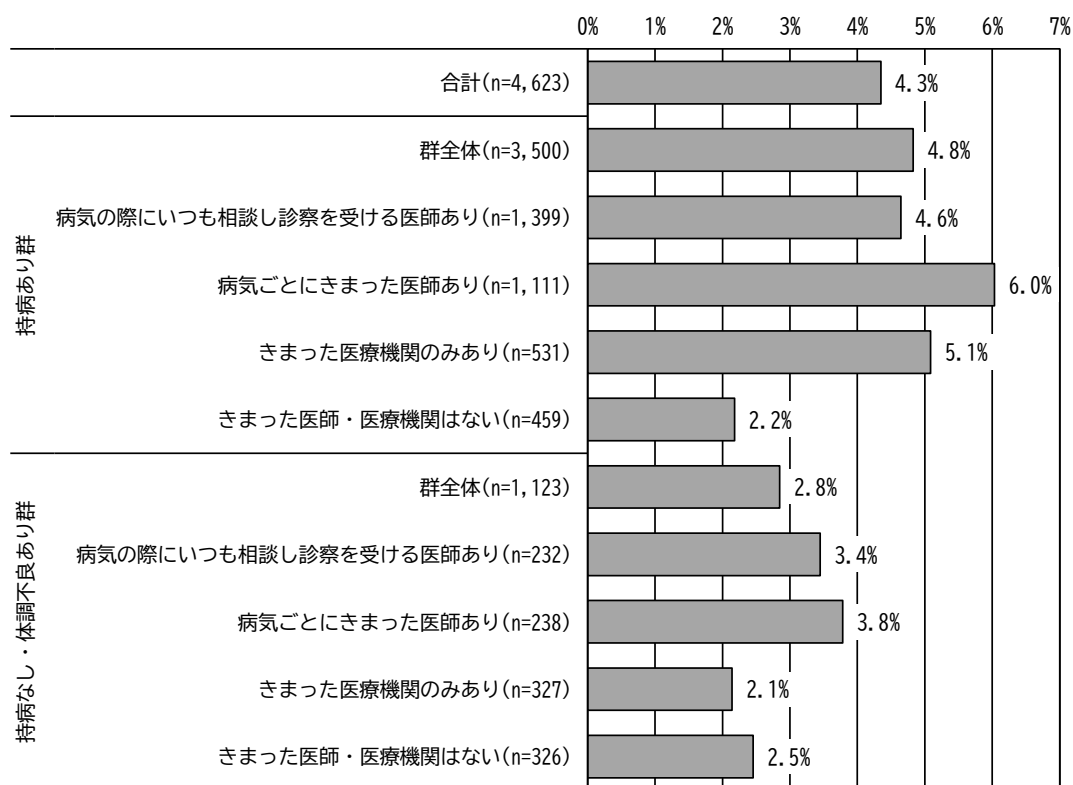
「オンライン診療を受けたことがある」の回答割合を年齢階級別にみると、持病あり群では「20歳代」が26.3%（前回調査比5.3ポイント増）と最も多く、次いで「30歳代」が14.5%（同5.8ポイント増）となり、年齢階級が高くなるにつれて回答割合に減少傾向がみられた。

同様に、持病なし・体調不良あり群でも「20歳代」が最も多く（13.0%、同6.2ポイント増）、「40歳代」を除き、おおむね年齢階級が高くなるにつれて回答割合に減少傾向がみられた。

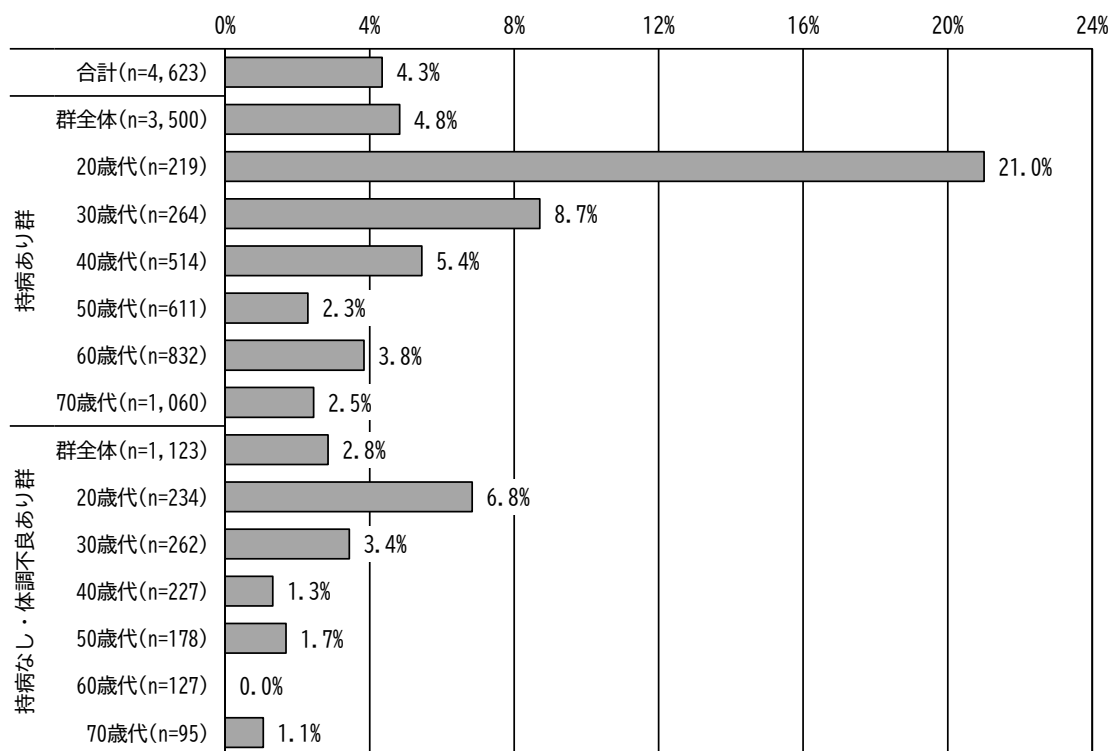
図表 12 「オンラインで医師の診察を受けたことがある」との回答割合
(群別・年齢階級別)



参考図表2 【前回調査】「オンラインで医師の診察を受けたことがある」との回答割合
(群別・かかりつけ医の有無別)



参考図表3 【前回調査】「オンラインで医師の診察を受けたことがある」との回答割合
(群別・年齢階級別)



【オンラインで医師の診察を受けたことがある診療科】

オンラインで医師の診察を受けたことがある回答者 268 人（全体の 5.6%）に対してオンライン診療を受けた診療科を聞いたところ、持病あり群では「内科」が 46.8%で最も多く、次いで「アレルギー科」と「その他の診療科」がともに 12.6%、「皮膚科」が 11.6%の順だった。また、持病なし・体調不良あり群では「内科」が 47.4%で最も多く、次いで「産婦人科」が 17.9%、「耳鼻咽喉科」と「その他の診療科」が 7.7%の順だった。

図表 13 オンラインで医師の診察を受けたことがある診療科（群別）

オンライン診療を受けた診療科	オンライン診療の経験のある回答者全体 (n=268)	持病あり群 (n=190)	持病なし・体調不良あり群 (n=78)
内科	47.0%	46.8%	47.4%
耳鼻咽喉科	10.1%	11.1%	7.7%
外科	5.6%	7.4%	1.3%
アレルギー科	10.8%	12.6%	6.4%
呼吸器科	3.7%	4.2%	2.6%
皮膚科	10.1%	11.6%	6.4%
泌尿器科	4.1%	4.7%	2.6%
整形外科	2.2%	2.1%	2.6%
眼科	2.6%	3.7%	0.0%
産婦人科	10.1%	6.8%	17.9%
神経内科	0.7%	1.1%	0.0%
精神科	5.6%	5.8%	5.1%
その他の診療科	11.2%	12.6%	7.7%

【オンライン診療を受けた経験のある回答者の考え】

























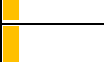
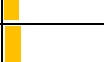

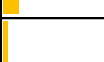
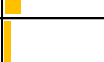
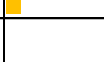
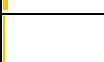
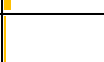
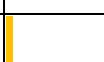



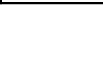
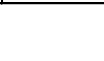
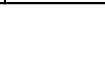
オンラインで医師の診察を受けたことがある回答者 268 人(全体の 5.6%)に対してオンライン診療の受診に対する感想、考えを聞いたところ、持病あり群では「自宅で受診できるため、便利だと感じる」が 66.8% (前回調査比 23.0 ポイント増) で最も多く、次いで「医療機関での待ち時間がなくなり、便利だと感じる」が 36.8% (同 0.7 ポイント増)、「自宅で受診できるため、通院のための体力的な負荷が減ったと感じる」が 32.1% (同 1.9 ポイント増) の順だった。

同様に、持病なし・体調不良あり群も「自宅で受診できるため、便利だと感じる」が 62.8% (同 9.7 ポイント増) と最も多く、次いで「医療機関での待ち時間がなくなり、便利だと感じる」が 34.6% (同 2.9 ポイント減)、「自宅で受診できるため、気軽に受診ができるようになったと感じる」が 30.8% (同 12.0 ポイント増) などと続いた。

図表 14 オンライン診療を受けた経験のある回答者のオンライン診療に対する感想 (群別)

意識の変化内容	オンライン診療の経験のある回答者全体 (n=268)	持病あり群 (n=190)	持病なし・体調不良あり群 (n=78)
自宅で受診できるため、便利だと感じる	65.7%	66.8%	62.8%
自宅で受診できるため、気軽に受診ができるようになったと感じる	31.0%	31.1%	30.8%
自宅で受診できるため、通院のための体力的な負荷が減ったと感じる	29.9%	32.1%	24.4%
医療機関での待ち時間がなくなり、便利だと感じる	36.2%	36.8%	34.6%
医療機関に行く回数が減り、感染症にかかる心配が小さくなったと感じる	25.4%	27.4%	20.5%
薬の受け取りに薬局に行ったため、通常の通院と利便性はさほど変わらないと感じる	7.5%	7.4%	7.7%
普段の生活状況を医師に見せることができ、病状や生活状況の説明がしやすくなったと感じる	7.5%	8.9%	3.8%
直接の対面でないため、十分な診察がされているか不安を感じる	18.3%	14.2%	28.2%
通信機器の状況が悪く、音声や画像が鮮明でないと感じる	4.5%	5.3%	2.6%
受診にあたり、通信機器の設定や操作方法が難しいと感じる	4.1%	4.7%	2.6%
診療費の支払いにあたり、通信機器の設定や操作方法が難しいと感じる	2.6%	3.7%	0.0%
その他	1.5%	1.1%	2.6%
特に感想はない	4.9%	5.3%	3.8%

参考図表4 【前回調査】オンライン診療を受けた経験のある回答者の
オンライン診療に対する感想（群別）

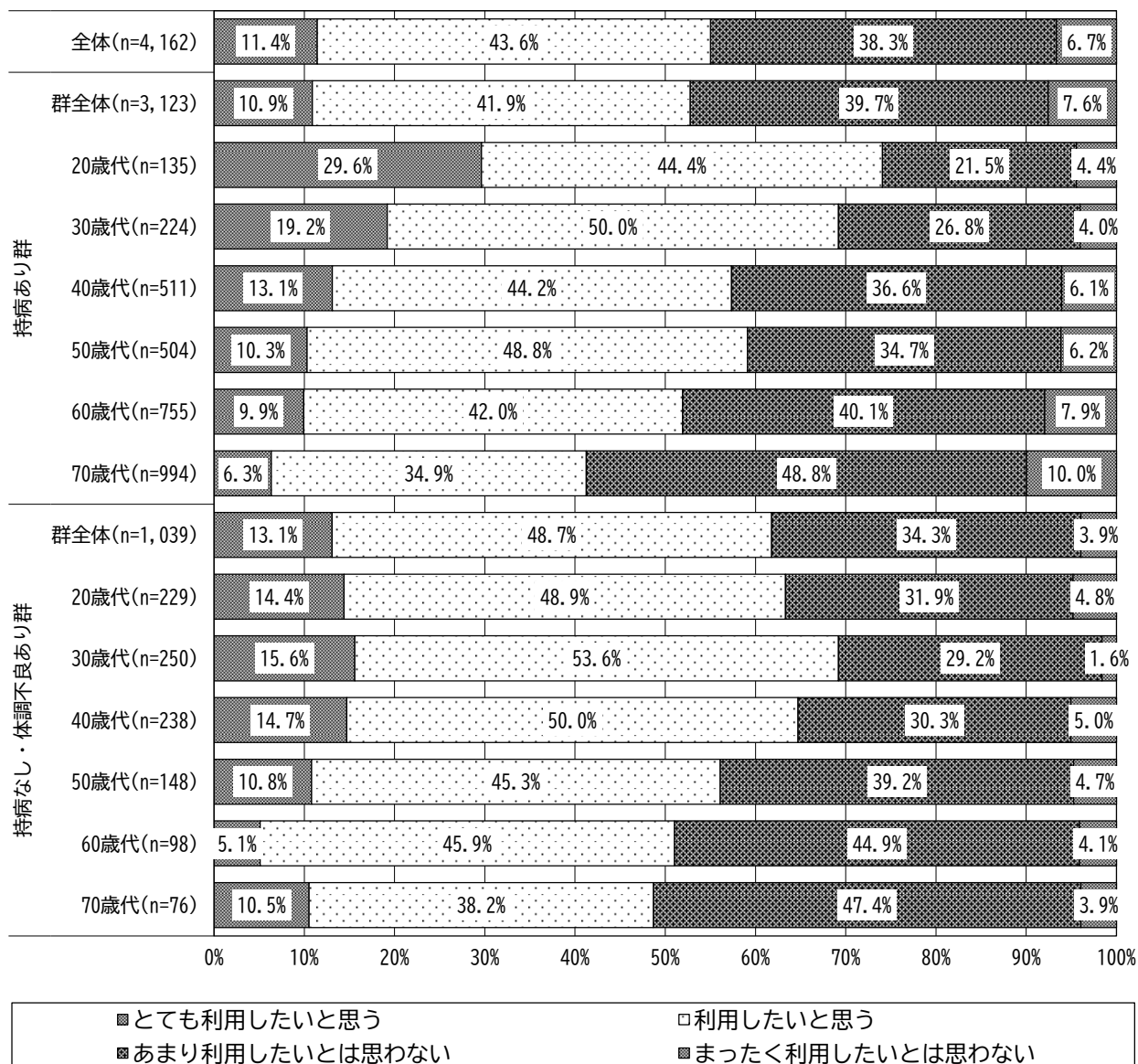
オンライン診療を受けた感想	オンライン診療の経験のある回答者全体 (n=201)	持病あり群 (n=169)	持病なし・ 体調不良あり群 (n=32)
自宅で受診できるため、便利だと感じる	 45.3%	 43.8%	 53.1%
自宅で受診できるため、気軽に受診ができるようになったと感じる	 20.4%	 20.7%	 18.8%
自宅で受診できるため、通院のための体力的な負担が減ったと感じる	 29.9%	 30.2%	 28.1%
医療機関での待ち時間がなくなり、便利だと感じる	 36.3%	 36.1%	 37.5%
医療機関に行く回数が減り、感染症にかかる心配が小さくなったと感じる	 25.9%	 24.9%	 31.3%
薬の受け取りに薬局に行ったため、通常の通院と利便性はさほど変わらないと感じる	 14.9%	 15.4%	 12.5%
普段の生活状況を医師に見せることができ、病状や生活状況の説明がしやすくなったと感じる	 10.9%	 11.2%	 9.4%
直接の対面でないため、十分な診察がされているか不安を感じる	 22.4%	 21.3%	 28.1%
通信機器の状況が悪く、音声や画像が鮮明でないと感じる	 7.0%	 6.5%	 9.4%
受診に当たり、通信機器の設定や操作方法が難しいと感じる	 7.0%	 7.1%	 6.3%
診療費の支払いに当たり、通信機器の設定や操作方法が難しいと感じる	 2.5%	 3.0%	 0.0%
その他	 1.0%	 0.6%	 3.1%
特に感想はない	 9.0%	 8.9%	 9.4%

【かかりつけ医によるオンライン診療に対する希望状況】

「かかりつけ医」を必要と考えている回答者（13 ページ「②かかりつけ医に対する意識の変化」参照）4,162 人（「かかりつけ医が絶対に必要だと思う」、「かかりつけ医はどちらかと言えば必要だと思う」のいずれかに該当）に対して「かかりつけ医」によるオンライン診療の利用意向を聞いたところ、回答者全体では「利用したいと思う」が 43.6%で最も多く、次いで「あまり利用したいとは思わない」が 38.3%の順であり、「かかりつけ医」によるオンライン診療の利用に肯定的（「とても利用したい」、「利用したい」）な回答（合計 55.0%）が、否定的（「あまり利用したいとは思わない」、「まったく利用したいとは思わない」）な回答（合計 45.0%）を 10.0 ポイント上回った。

「かかりつけ医」によるオンライン診療の利用意向の内訳を年齢階級別にみると、オンライン診療の利用に肯定的（「とても利用したい」、「利用したい」）な回答は持病あり群では「20 歳代」が合計 74.1%と最も多く、次いで「30 歳代」（合計 69.2%）となった。また、持病なし・体調不良あり群においても同様の傾向がみられ、「30 歳代」が合計 69.2%で最多となり、「40 歳代」（合計 64.7%）と続くなど、それぞれ、現役世代を中心に全体より高い割合を占めた。

図表 15 「かかりつけ医」によるオンライン診療に対する希望状況（群別・年齢階級別）



④新型コロナウイルスの感染拡大を契機とした病気や健康の意識の変化

新型コロナウイルス感染拡大を契機とした病気や健康への意識の変化を聞いたところ、持病あり群では「以前に比べ、生活習慣病の予防に関心を持つようになると思う」が39.3%（前回調査比0.8ポイント増）で最も多く、次いで「特に意識は変わらないと思う」が36.2%（同4.0ポイント増）、「以前に比べ、生活習慣病以外の病気の予防や健康管理に関心を持つようになると思う」が32.9%（同1.0ポイント増）の順だった。

持病なし・体調不良あり群では「以前に比べ、生活習慣病の予防に関心を持つようになると思う」が39.6%（同1.9ポイント減）で最も多く、次いで「以前に比べ、生活習慣病以外の病気の予防や健康管理に関心を持つようになると思う」が33.8%（同2.7ポイント減）、「特に意識は変わらないと思う」が26.9%（同4.2ポイント増）の順だった。

このほか、「以前に比べ、医療機関を受診するかどうかを慎重に考えるようになると思う」（持病あり=11.4%（同8.4ポイント減）、持病なし・体調不良あり=25.8%（同9.2ポイント減）、「以前に比べ、一度により長い日数の薬の処方を受けるなど、受診の機会を減らそうと考えることが増えると思う」（同=14.6%（同3.9ポイント減）、同=13.4%（同3.6ポイント減））などの回答が目立った。

図表 16 新型コロナウイルス感染拡大を契機とした病気や健康への意識の変化（群別）

意識の変化内容	全体 (n=4,744)	持病あり群 (n=3,500)	持病なし・ 体調不良あり群 (n=1,244)
以前に比べ、生活習慣病の予防に関心を持つようになると思う	39.4%	39.3%	39.6%
以前に比べ、生活習慣病以外の病気の予防や健康管理に関心を持つようになると思う	33.1%	32.9%	33.8%
以前に比べ、こまめに医療機関を受診しようとするようになると思う	7.2%	6.7%	8.6%
以前に比べ、医療機関を受診するかどうかを慎重に考えるようになると思う	15.2%	11.4%	25.8%
以前に比べ、一度により長い日数の薬の処方を受けるなど、受診の頻度を減らそうと考えることが増えると思う	14.3%	14.6%	13.4%
以前に比べ、医療機関の受診にかえて、市販の薬を服用することが増えると思う	5.0%	3.6%	8.8%
オンラインでの受診を活用しようとすることが増えると思う	8.1%	7.3%	10.5%
オンラインを通じた薬の配送を活用しようとすることが増えると思う	5.4%	5.1%	6.5%
オンラインでの健康相談を活用しようとすることが増えると思う	4.5%	3.9%	6.1%
ドラッグストアなど、医療機関以外での健康相談を活用しようとすることが増えると思う	3.6%	2.7%	5.9%
その他	0.3%	0.2%	0.3%
特に意識は変わらないと思う	33.7%	36.2%	26.9%

参考図表5 【前回調査】新型コロナウイルス感染拡大を契機とした病気や健康への意識の変化（群別）

意識の変化内容	全体 (n=4,623)	持病あり群 (n=3,500)	持病なし・ 体調不良あり群 (n=1,123)
以前に比べ、生活習慣病の予防に関心を持つようになると思う	39.2%	38.5%	41.5%
以前に比べ、生活習慣病以外の病気の予防や健康管理に関心を持つようになると思う	33.0%	31.9%	36.5%
以前に比べ、こまめに医療機関を受診しようとするようになると思う	3.3%	3.0%	4.2%
以前に比べ、医療機関を受診するかどうかを慎重に考えるようになると思う	23.5%	19.8%	35.0%
以前に比べ、一度により長い日数の薬の処方を受けて、受診の頻度を減らそうと考えることが増えると思う	18.1%	18.5%	17.0%
以前に比べ、医療機関の受診にかえて、市販の薬を服用することが増えると思う	4.7%	3.2%	9.5%
オンラインでの受診を活用しようとすることが増えると思う	12.0%	10.6%	16.4%
オンラインを通じた薬の配送を活用しようとすることが増えると思う	7.1%	6.4%	9.2%
オンラインでの健康相談を活用しようとすることが増えると思う	6.4%	5.5%	9.2%
ドラッグストアなど、医療機関以外での健康相談を活用しようとすることが増えると思う	4.7%	3.6%	7.8%
その他	0.4%	0.4%	0.4%
特に意識は変わらないと思う	29.9%	32.2%	22.7%